

TAR/ター (2022)

TAR

メディア 映画

ジャンル ドラマ 音楽 サスペンス

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 158分

初公開日 2023/05/12

公開情報 ギャガ

映倫 G

【キャッチコピー】

旋律

栄光

絶望

狂気

【解説】

「ブルージャスミン」「キャロル」のケイト・ブランシェットがカリスマ指揮者を圧倒的存在感で演じ切り映画賞を席卷した衝撃のサスペンス・ドラマ。ベルリンフィル初の女性マエストロとなり、頂点を極めた孤高の天才リディア・ターが、様々な重圧と謎の陰謀の前に次第に追い詰められていくさまを緊張感あふれる筆致でスリリングに描き出す。共演はノエミ・メルラン、ニーナ・ホス、マーク・ストロング、そして実際にチェロ奏者として活躍し、本作が俳優デビューとなるソフィ・カウアー。監督は「イン・ザ・ベッドルーム」「リトル・チルドレン」のトッド・フィールド。

女性として初めてベルリンフィルの首席指揮者に就任したりディア・ターは、類まれな才能に甘んじることなく、常に努力を重ねて現在の地位を掴み取ってきた。今や作曲家としても活躍し、自伝の出版も控える彼女だったが、新曲が思うように作れず生みの苦しみを味わうとともに、マーラーの交響曲で唯一残っていた第5番の録音が目前に迫り大きなプレッシャーにも晒されていた。そんな中、かつてターが指導した若手指揮者の自殺が明らかとなり、これを境に彼女と周囲の歯車が急速に狂い始めていくのだったが…。

【クレジット】

監督	トッド・フィールド	Todd Field	
製作	トッド・フィールド	Todd Field	
	アレクサンドラ・ミルチャン	Alexandra Milchan	
	スコット・ランバート	Scott Lambert	
脚本	トッド・フィールド	Todd Field	
撮影	フロリアン・ホーフマイスター	Florian Hoffmeister	
プロダクション デザイン	マルコ・ビットナー・ロッサー	Marco Bittner Rosser	
衣装デザイン	ビナ・ダイヘレル	Bina Daigeler	
編集	モニカ・ヴィッリ	Monika Willi	
音楽	ヒルドゥル・グーナドッティル	Hildur Guthnadottir	
出演	ケイト・ブランシェット	Cate Blanchett	リディア・ター
	ノエミ・メルラン	Noemie Merlant	フランチェスカ・レンティーニ

ニーナ・ホス

ソフィ・カウアー

ジュリアン・グローヴァー

アラン・コーデューナー

マーク・ストロング

Nina Hoss

Sophie Kauer

Julian Glover

Allan Corduner

Mark Strong

シャロン・グッドナウ

オルガ・メトキナ

アンドリス・デイヴィス

セバスチャン・ブリックス

エリオット・カプラン